



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月8日

上場会社名 サイバネットシステム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4312 URL <https://www.cybernet.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役 (氏名) 安江 令子
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 田中 秀幸 (TEL) 03-5297-3010
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	15,282	6.1	1,034	△13.4	1,009	△8.1	532	△11.5
2022年12月期第3四半期	14,406	△17.9	1,195	△55.8	1,098	△59.4	600	△68.6

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 762百万円(△24.5%) 2022年12月期第3四半期 1,010百万円(△53.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	17.22	—
2022年12月期第3四半期	19.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	25,518	14,623	56.7
2022年12月期	24,155	14,749	60.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 14,458百万円 2022年12月期 14,572百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	14.80	—	14.20	29.00
2023年12月期	—	14.50	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	—	14.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	10.4	1,850	5.2	1,850	9.2	1,050	5.0	33.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期3Q	32,076,000株	2022年12月期	32,076,000株
2023年12月期3Q	1,174,595株	2022年12月期	1,187,618株
2023年12月期3Q	30,896,195株	2022年12月期3Q	30,977,873株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が152億82百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は10億34百万円（同13.4%減）、経常利益は10億9百万円（同8.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億32百万円（同11.5%減）となりました。

売上高については、シミュレーションソリューションサービス事業の国内における保守契約の更新及びITソリューションサービス事業が好調に推移したこと等により、増収となりました。

利益については、人的資本投資に伴う労務費や人件費の増加、営業活動量の増加に伴う旅費交通費の増加、基幹システム稼働に伴う減価償却費の増加等により、減益となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりです。

(シミュレーションソリューションサービス事業)

売上高は120億36百万円（前年同期比6.2%増）、セグメント利益は17億46百万円（同5.4%減）となりました。

国内では、主力製品であるマルチフィジックス解析ツールは、新規ライセンスの販売が復調し、保守契約の更新も好調に推移いたしました。また、AIやAR関連のエンジニアリングサービス、MBSEの導入支援に関するコンサルティングサービス等が好調に推移いたしました。

海外では、販売子会社は地政学的リスクを背景とした先行きの不透明感等を背景に、顧客の購買意欲が弱く、減収となりました。

利益については、セールスマックスの変化による商品原価の増加、営業活動量の増加に伴う旅費交通費の増加等により、減益となりました。

(ITソリューションサービス事業)

売上高は32億46百万円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益は3億42百万円（同15.5%減）となりました。

ゼロトラストセキュリティ実現のための基本要素である次世代型エンドポイントセキュリティの販売、クラウド環境向けセキュリティソリューションの販売が好調に推移いたしました。

利益については、円安等による商品原価の増加、労務費や人件費の増加等により、減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は255億18百万円となりました（前連結会計年度末比13億62百万円増加）。

流動資産は234億51百万円と、前連結会計年度末比12億20百万円増加しました。受取手形、売掛金及び契約資産、有価証券が減少した一方で、現金及び預金、前渡金が増加したことによるものです。固定資産は20億66百万円と、前連結会計年度末比1億42百万円増加しました。主として、無形固定資産が増加したことによるものです。

負債合計は108億95百万円となりました（前連結会計年度末比14億89百万円増加）。流動負債は97億98百万円と、前連結会計年度末比14億38百万円増加しました。主として、未払法人税等、前受金が増加したことによるものです。固定負債は10億96百万円と、前連結会計年度末比50百万円増加しました。

純資産合計は146億23百万円と、前連結会計年度末比1億26百万円減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加及び為替換算調整勘定の増加、配当金の支払に伴う利益剰余金の減少によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の60.3%から56.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は112億39百万円となり、前連結会計年度末に比べて15億10百万円減少しました。当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況とその主な要因は、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは17億50百万円のプラスとなりました（前年同四半期は4億99百万円のプラス）。仕入債務の減少がある一方で、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少によって増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは26億40百万円のマイナスとなりました（前年同四半期は27億61百万円のプラス）。主に、有価証券の取得による支出の計上によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは9億円のマイナスとなりました（前年同四半期は13億20百万円のマイナス）。主に、配当金の支払によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しに重要な変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,348,001	9,682,795
受取手形、売掛金及び契約資産	3,606,003	3,009,704
有価証券	7,000,000	6,400,000
商品及び製品	33,790	7,682
仕掛品	22,587	37,853
原材料及び貯蔵品	8,539	9,273
前渡金	2,623,174	3,925,787
その他	591,384	380,709
貸倒引当金	△2,165	△1,956
流動資産合計	22,231,315	23,451,849
固定資産		
有形固定資産	342,804	331,964
無形固定資産		
その他	1,007,278	1,134,781
無形固定資産合計	1,007,278	1,134,781
投資その他の資産		
投資有価証券	2,055	2,325
その他	592,672	651,458
貸倒引当金	△20,781	△54,195
投資その他の資産合計	573,947	599,588
固定資産合計	1,924,030	2,066,335
資産合計	24,155,346	25,518,184

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,195,161	1,285,005
未払法人税等	20,826	318,388
賞与引当金	409,525	256,419
役員賞与引当金	29,057	30,740
助成金返還引当金	429,929	480,270
前受金	5,442,771	6,534,635
その他	832,349	892,999
流動負債合計	8,359,622	9,798,459
固定負債		
退職給付に係る負債	992,044	1,023,126
役員賞与引当金	19,853	34,899
その他	34,243	38,590
固定負債合計	1,046,141	1,096,616
負債合計	9,405,764	10,895,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	995,000	995,000
資本剰余金	913,261	917,717
利益剰余金	13,059,237	12,704,652
自己株式	△754,879	△746,596
株主資本合計	14,212,619	13,870,772
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	360,102	587,823
その他の包括利益累計額合計	360,102	587,823
非支配株主持分	176,859	164,511
純資産合計	14,749,581	14,623,107
負債純資産合計	24,155,346	25,518,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	14,406,021	15,282,651
売上原価	8,507,185	9,265,451
売上総利益	5,898,836	6,017,200
販売費及び一般管理費	4,703,793	4,982,480
営業利益	1,195,042	1,034,719
営業外収益		
受取利息	12,435	19,455
助成金収入	7,134	4,819
その他	1,386	2,990
営業外収益合計	20,956	27,265
営業外費用		
為替差損	92,713	46,973
過年度売上税等	22,925	-
その他	1,779	5,014
営業外費用合計	117,417	51,988
経常利益	1,098,580	1,009,996
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除却損	766	14,830
契約解約損	-	2,394
特別損失合計	766	17,225
税金等調整前四半期純利益	1,097,814	992,771
法人税、住民税及び事業税	111,038	427,189
法人税等調整額	374,388	42,453
法人税等合計	485,426	469,643
四半期純利益	612,387	523,127
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11,446	△8,972
親会社株主に帰属する四半期純利益	600,941	532,100

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	612,387	523,127
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	398,095	239,514
その他の包括利益合計	398,095	239,514
四半期包括利益	1,010,482	762,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	985,207	759,821
非支配株主に係る四半期包括利益	25,275	2,821

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,097,814	992,771
減価償却費	186,700	240,790
受取利息及び受取配当金	△12,435	△19,455
為替差損益(△は益)	△37,460	△15,274
固定資産売却損益(△は益)	△0	-
固定資産除却損	766	14,830
売上債権の増減額(△は増加)	1,451,726	1,612,488
棚卸資産の増減額(△は増加)	△30,654	11,067
仕入債務の増減額(△は減少)	△405,844	△1,238,349
未払費用の増減額(△は減少)	△240,157	△18,436
未払消費税等の増減額(△は減少)	△168,914	29,604
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,498	29,725
賞与引当金の増減額(△は減少)	△446,221	△156,697
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,923	13,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△39,239	31,082
その他	85,583	196,241
小計	1,429,242	1,723,389
利息及び配当金の受取額	11,452	14,138
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△941,524	13,313
営業活動によるキャッシュ・フロー	499,170	1,750,841
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△97,730	△406,560
定期預金の払戻による収入	97,730	101,640
有形固定資産の取得による支出	△74,152	△62,162
有形固定資産の売却による収入	0	111
無形固定資産の取得による支出	△228,055	△369,698
有価証券の取得による支出	△500,000	△7,500,000
有価証券の償還による収入	-	5,600,000
貸付金の回収による収入	3,579,656	-
その他	△16,037	△4,053
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,761,411	△2,640,722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△209,793	-
配当金の支払額	△962,079	△884,875
非支配株主への配当金の支払額	△26,785	△15,168
非支配株主への払戻による支出	△121,799	-
その他	△243	△731
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,320,701	△900,775
現金及び現金同等物に係る換算差額	515,760	280,430
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,455,641	△1,510,226
現金及び現金同等物の期首残高	12,339,377	12,750,101
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,795,018	11,239,875

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項ありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(重要な後発事象)

(支配株主である富士ソフト株式会社による当社株式に対する公開買付けについて)

当社は、2023年11月8日開催の取締役会において、当社の支配株主（親会社）である富士ソフト株式会社（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して、本公開買付けに応募することを推奨することを決議いたしました。

なお、当社の上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続により当社を公開買付者の完全子会社とすることを企図していること、並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。

詳細につきましては、2023年11月8日公表の「支配株主である富士ソフト株式会社による当社株式に対する公開買付けに関する賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせ」をご参照ください。